

# 高度先進矯正臨床応用学特論

Advanced Course of Clinical Application in Highly Advanced Orthodontics

## キーワード

- ① 臨床課題
- ② 研究デザイン
- ③ 学会発表
- ④ 文献収集
- ⑤ 論文作製

## 授業概要

矯正臨床の診断および治療を通し、現代矯正臨床の発展の歴史を理解し、今後の展開に関し考察する。具体的には、(1) 歯科矯正の診断法の発展を学習し、先進の包括的三次元診断を習得する。(2) 歯の移動のための矯正治療装置を適用し、治療結果を評価し考察する。(3) 顎整形装置を適用し、治療結果を評価し考察する。(4) 外科矯正治療の診断、手術シミュレーションを実施し、治療結果を評価し考察する。(5) 歯周矯正治療を実施し、治療結果を評価し考察する。(6) 成長発育期の症例の治療を実践し、歯列および顎骨の成長を評価し考察する。

## 授業科目の学修目標

矯正臨床の診断および治療を通し、現代矯正臨床の課題解決のための研究デザインを設定し、遂行する。研究の進捗、結果に対する考察のため、海外文献収集により国際的な幅広い知識を身につけ、研究の意義および位置付けを確認する。

## 授業計画

- ① 臨床問題解決型の研究デザインを立案し実施する。 10コマ 不島健持
- ② 研究結果の分析を実施する。 10コマ 不島健持
- ③ 文献収集により、研究の妥当性、意義を確認し、分析結果を考察する。 10コマ 不島健持

## 教科書および参考書

Science and Practice of Occlusion, McNeill C. (ed.), Illinois, Quintessence Publishing Co. (1997)  
臨床歯周病学とインプラント 【臨床編】 , Lindhe J (第四版) , クインテッセンス. (2005)  
Contemporary Orthodontics, Proffit, W.R. Fields, Jr. A.W., Sarver D.M. (4th Eds.), St. Louis, Mosby co. (2007)

## 履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

指導教員との討論、学会報告を通し、研究の意義、方法の妥当性、結果の分析法を再考し、研究にフィードバックする。

## 大学院生が達成すべき行動目標

- ① 指導教員との討論により、研究デザインを確立する。
- ② 研究結果を整理し、学会発表を行う。
- ③ 研究結果の分析、考察を進め、論文のまとめを実践する。

## 評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	0%	40%	0%	60%	0%

## 評価の要点

- ・学会発表の予演会において達成度を判定する。10%×4回=40%
- ・口頭試問により研究実施の理解度を判定する。10%×6回=60%

## 理想的な達成レベルの目安

高度先進矯正臨床応用学特論の理想的な達成レベルは80%以上とする。